

## 日本産せんぶり屬ニ就イテ

佐竹義輔

Y. SATAKE: Species Swertiae Nipponenses.

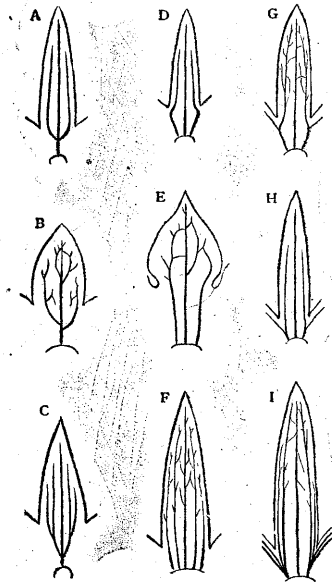
數年前カラ日本産せんぶり屬ニ就イテ興味ヲ持テ研究シテキタガ、一應マトマツタノ  
 玆ニ報告シテ大方ノ御批評ヲ仰ギタイ。以後、日本産、出來得レバ東亞産ノりんどう  
 科植物ニツキ研究シ、マトマツタ屬カラ發表シ、最後ニりんどう科全體ニ互ツテ分類學  
 的考察ヲ行ツテ見タイ豫定デアル。

本研究ニ用ヒタ材料ハ、東京帝國大學京都帝國  
 大學理學部植物學教室及ヒ東京科學博物館所藏ノ  
 標本デアル。標本ト圖書ノ借覽ヲ許サレタ東大理  
 學部植物學教室、並ニ京都帝大理學部植物學教室  
 ニ對シテ感謝ノ意ヲ表スル。尙本研究ハ文部省科  
 學研究費ニヨツテ行ツタモノデアル。併セ記シテ  
 謝意ヲ表スル次第デアル。

## せんぶり屬ノ特徴

花ハ4-5 數性。萼ハ稍々離生、4-5 裂シ、裂片  
 ハ長橢圓形、披針形又ハ線形デ長サハ花冠裂片ヨ  
 リ通常短イ。脈ハ3-5 脈、上部デハ離生又ハ網狀  
 フナス。側脈ハ主脈カラ出ルカ、或ハ別々ニ出  
 ル。たかねせんぶり、しのめさう、しまあけ  
 ぼのさうデハ側脈ハ主脈ノ下部カラ出ルガ、とう  
 ざんせんぶり、あけぼのさう、みやまあけぼのさ  
 う、せんぶり、むらさきせんぶり等デハ別々ニ出  
 ル(第1圖)。側脈同志ハ普通ハ連絡シナイガ、  
 稀ニ連絡スルモノガアル(まつだせんぶり、せん  
 ぶり 第1圖 G, H)。所ガヤけいしせんぶり、え  
 ぞたかねせんぶりデハ、相對スル萼片ハ側脈ガ主  
 脈カラ出ルガ、他ノ相對スル萼片デハ側脈ハ主脈  
 ト關係ナク出ル。シカモ側脈同志ハ連絡スルノデ  
 アル(第2圖)。コレハ注意スベキ特徴デアル。

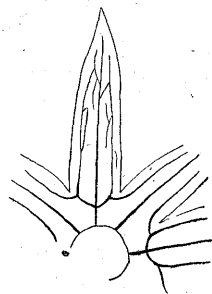
花冠ハ合瓣デアルガ筒部ハ短イ。裂片ハ4-5、  
 披針形、橢圓形、長橢圓形デ、脈ハ上部ハ網狀フ  
 ナスノガ普通デアルガ、稀ニ離生スル。側脈ト主



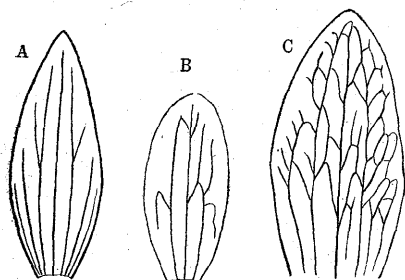
第1圖 萼ノ脈9種。A-C, 第一側  
 脈 $l^1$ ガ中肋 $m$ ニ結合スル。D-F,  
 $l^1$ ガ隣同志連絡セス、 $m$ ニモ連絡シ  
 ナイ。G-I,  $l^1$ ガ $m$ ニハ連絡シナイ  
 ガ隣同志連絡スル。

A. たかねせんぶり (*S. micrantha*),  
 B. しまあけぼのさう (*S. Makinoana*),  
 C. しのめさう (*S. Swertopsis*),  
 D. とうざんせんぶり (*S. tozanensis*),  
 E. あけぼのさう (*S. bimaculata* var. *typica*),  
 F. みやまあけぼのさう (*S. perennis* var. *cuspidata*),  
 G. まつだせんぶり (*S. Matsudai*),  
 H. せんぶり (*S. japonica*),  
 I. むらさきせんぶり (*S. chinensis*).

脈トノ關係ヲ見ルト 4 通アル事ガ判ル (第 4 圖)。第 1 ハ第 1 側脈ガ主脈ノ下部カラ出、第 2 側脈ハ更ニ第 1 側脈カラ出ルモノデ (おほばせんぶり、とうざんせんぶり、にひたかせんぶり) コレヲ A 型ト呼フコトニスル。第 2 ハ主脈ノ下部カラ弧狀ノ脈ガ出テコレカラ第 1, 2 側脈ノ出ルモノデ (おきなはせんぶり、りうきうあけほのさう) B 型ト呼ブ。B 型ハ A 型ノ變型デアル。第 3 ハ、第 1 側脈ハ主脈カラ別ニ出ルガ、第 2 側脈ハ第 1 側脈カラ出ルモノデアル (いぬせんぶり、ちしませんぶり、しのめさう)。コレヲ C 型ト云フ。第 4 ハ第 1, 2 側脈ハソレゾレ、又主脈トモ別々ニ出ルモノデ (せんぶり)、コレヲ D 型ト呼ブ。



第 2 圖 やけいしせんぶり (*S. chrysantha*) ノ萼ノ脈。萼外片デハ第 1 側脈  $I^1$  ガ中肋  $m$  ニ連絡シ、内片デハ連絡シナイ。シカモ  $I^1$  ハ隣同志、萼片癒合部デ連絡スル。コノ性質ハ本種トえぞたかねせんぶり (*S. chrysantha* var. *yezo-alpina*) ニノミ見ラレルノデアル。



第 3 圖 花瓣脈ノ三型。A. 網脈ヲナスせんぶり (*S. japonica*)、B. 稍網脈ヲナスたかねせんぶり (*S. micrantha*)、C. 網脈ヲナスあけほのさう (*S. bimaculata* var. *typica*)。

以上ノ萼片及ビ花冠片ノ脈ノ性質ハ、種ニヨツテソレゾレ特有ノ特徴ヲ持ツテキルガ、分類

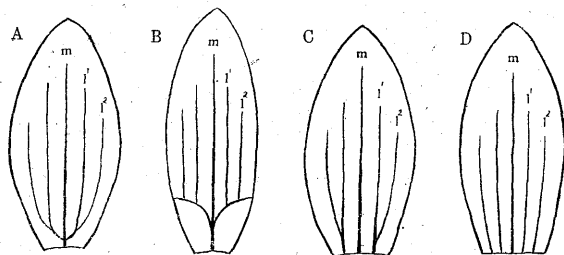
上ノ群 (例ヘバ亞屬ヤ節) ニヨツテ定ツテキルモノデハナイノデ、脈ノ性質ノミニヨツテ分類ノ基本系ヲ設ケルコトハ出来ナイヤウデアル。

副花冠ハ通常缺如シテキルガ、アルモノハ單ニ毛狀ヲナシテ存スルモノモアルガ、分類ノ特徴トスル程ノモノデハナイ。

花冠裂片ノ中部又ハ下部ニ 1-2 個ノ蜜槽ガアル。コノ蜜槽ノ性質ハせんぶり屬分類ノ上ニ重大ナ特徴トナルモノデ、邦産ロハ 5 通りノモノガ見ラレル (第 5 圖)。

1. 蜜槽ハ單ナル淺イ凹ミデ他ノ部分ト色ガ變ツテキル丈デアル。眞中ニ 1 個アルモノニベツかりんどう、りうきうあけほのさう、2 個アルモノニあけほのさう、とうざんせんぶり等ガアル (第 5 圖 A, D)

2. 蜜槽ハ 1 個又ハ稍



第 4 圖 花瓣基部ニ於ケル中肋 (m)、第 1 脈 ( $I^1$ )、第 2 側脈 ( $I^2$ ) ノ關係ヲ示ス模式圖。

2 個アリ、左右兩側ノ縁部カラ中共ニ向ツテ柱狀ノ突起ガアルモノデアル。コノ突起ガ 1 個アルモノハつりはこべデ、數個アルモノハちしませんぶり、おほばせんぶり、やけいしせんぶり等デアル (第 5 圖 B)。

3. 蜜槽ハ 1 個デ、囊狀ノ被膜ガアリ、ソノ縁ハ裂ケテ絲狀毛ニナル。ありさんせんぶりガコレデアル (第 5 圖 C)。

4. 蜜槽ハ 2 個デ、囊狀ノ被膜ガアリ、ソノ縁部ハ不規則ニ裂ケルガ線狀ニハナラナイ。ひめせんぶり、まんしうひめせんぶりニ見ラレル (第 5 圖 E)。

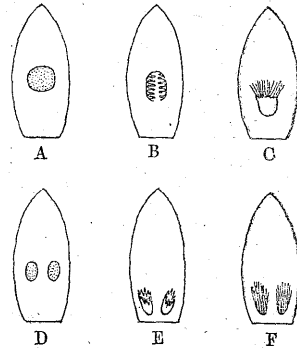
5. 蜜槽ハ 2 個デ、縁部カラ多クノ絲狀毛ガ出テキルモノデ、せんぶり、むらさきせんぶり、みやまあけほのさう等ニ見ラレル (第 5 圖 F)。

2. ノ突起ト 3. ノ絲狀毛ノ表面ニハ乳頭狀ノ隆起ガアル (第 6 圖 A-B)。又 5. ノ絲狀毛ハ普通ハ表面平滑デアルガ (例せんぶり、みやまあけほのさう 第 6 圖 D)、波狀隆起ノアルモノガアリ (むらさきせんぶり 第 6 圖 C)、イヅレモ種ヲ區別スル上ニ重要ナ特徴トナル。

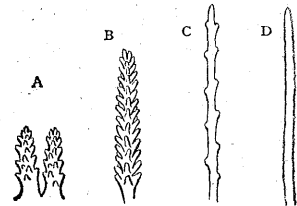
雄蕊ハ 4-5 アリ、葯ハ長橢圓形、下半部箭形ヲナシ、花絲ニ丁字様ニツク。花柱ハ絲狀デ下部ハ擴大シ扁平トナル。子房ハ 1 室、花柱ハ極メテ短イカ或ハ缺如スル。柱頭ハ短ク 2 裂、或ハ無柄デ縫合線ノ兩側ニ沿下スル。果實ハ蒴果、2 瓣ニ開裂スル。

種子ハ橢圓形、圓形デ、中ニ扁壓ノモノモアリ、小ナルモノハ徑 0.5-1mm カラ大ナルモノハ長徑 2.5-3mm ニ達スルモノガアル。表面ニハ網狀ノ紋アルモノ (せんぶり、あけほのさう)、短イ翼狀隆起アルモノ (ありさんせんぶり)、粒狀突起アルモノ (しのめさう) 等ガアル。イヅレモ種特有ノ性質ヲモツガ、全部ニツイテ研究スル程ノ材料ガナイノデ詳説ハサケル。

1-2 年生又ハ多年生ノ草本デ、花時ニモ存スル大形ノ根葉ヲ有スルモノト、花時ニハ脱落スル小形ノ根葉ヲ有スルモノトアル。莖葉ハ對生デ、稀ニ互生ハル。花ハ葉腋ニ單



第 5 圖 せんぶり屬ノ蜜槽 6 種ノ模式圖。A. へつかりんどう、りうきうあけほのさう、おきなはせんぶり。B. ちしませんぶり、おほばせんぶり、やけいしせんぶり。C. ありさんせんぶり。D. あけほのさう、まつだせんぶり、とうざんせんぶり。E. ひめせんぶり、まんしうひめせんぶり。F. せんぶり、むらさきせんぶり、いぬせんぶり、みやまあけほのさう。



第 6 圖 蜜槽ノ縁ニアル毛 4 種。A. おほばせんぶり (*S. Wilfordi*)、B. ありさんせんぶり (*S. arisanensis*)、C. むらさきせんぶり (*S. chinensis*)、D. せんぶり (*S. japonica*)。

生スルカ或ハ總狀花序或ハ聚繖狀繖花序ヲナシ、時ニ繖形狀聚繖花序ヲナス。歐洲、北米、亞細亞ニ分布シ、草原、山地、濕地、高山ニ生ズル。

### せんぶり屬ノ分類

*Swertia* L. ハ其ノ後色々ノ屬ニ分ケラレテキル。DON ヤ GRISEBACH ハ、眞ノ *Swertia* ハ、多年生デ花時ニモ大形長柄ノ根葉ヲ有スル *Sw. perennis* L. トソノ近似種ニ限ツテ用ヒ、ソノ他ノ 1-2 年生デ大形根葉ヲ有セヌモノハ *Ophelia* DON ト云フ別屬ニ扱ツテキル。ソシテ *Ophelia* 屬ヲソノ主トシテ蜜槽ノ性質カラ Sect. *Euophelia*, Sect. *Neurophyllum* (Sect. *Neurophelia*), Sect. *Agathotes* ノ節ニ分ケテキル\*。

BENTHAM & HOOKER\*\* ハコレヲ別屬トセズ節ト考ヘ、前亞屬ニ當ルモノヲ Sect. *Swertiae* 後亞屬ニ當ルモノヲ Sect. *Opheliae* トシタ。

C. B. CLARKE\*\*\* ハ前者ヲ Subgen. *Euswertia*, 後者ヲ Subgen. *Ophelia* ノ亞屬ニ考ヘテキル。GILG\*\*\*\* ハコレヲ節ト考ヘ、Sect. *Euswertia*, Sect. *Ophelia* トシテキル。

要スルニ近年ニハ *Ophelia* ナル屬ハ認メラレズ、*Swertia* ノ亞屬又ハ節トシテ考ヘラレルヤウニナツテキル。

筆者ハ *Swertia* L. ヲ少シ大キク考ヘテ見タイ。從來別屬トサレタひめせんぶり屬 *Lomatogonium* (*Pleurogyna*) ハ柱頭ガ無柄デ縫合線ニ沿下シテキテ、蜜槽ノ被膜ガ先端ガ不規則ニ裂ケル丈デ毛狀ニハナラナイト云フ性質ノ外ハ全ク *Swertia* ト變リナク、又、つりはこべ *Anagallidium* ハ蜜槽ニ一個ノ柱狀突起ガアルガコレハちしませんぶり節ノ極端ナ型ト考ヘテ差支ナイト思フノデ、コノ 2 屬ハ *Swertia* ノ亞屬ト取扱ヒ、*Swertia* ヲひめせんぶり亞屬 Subgen. *Lomatogonium*, つりはこべ亞屬 Subgen. *Anagallidium*, せんぶり亞屬 Subgen. *Ophelia* ノ 3 亞屬トシ、せんぶり亞屬ハ更ニ、主トシテ蜜槽ノ性質カラ、へつかりんどう節 | Sect. *Rosulatae*, ちしませんぶり節 Sect. *Stellera*, ありさんせんぶり節 Sect. *Neurophyllum*, あけぼのさう節 Sect. *Bimaculatae*, しのめさう節 Sect. *Swertopsis*, みややあけぼのさう節 Sect. *Euswertia*, せんぶり節 Sect. *Japonicae* ノ 7 節ニ區別シタイノデアル。モツト廣範圍カラ多クノ資料ヲ蒐集シテ研究シタラ、コノ考ハ極メテ近視的ノモノトナルカモ知レヌガ、敢ヘテコノニ筆者ノ所見ヲ述ベテ大方諸賢ノ御叱正ヲ仰ギタイ。

### 亞屬ノ區分

1 花瓣ノ脈ハ赤色ヲ帶ビ、乾燥シテモ顯著ナリ。雌蕊ニ花柱ナク、柱頭ハ縫合線ニ沿下

\* GRISEBACH, Gen. et Sp. Gent. 313-321, 331-334 (1839) et in DC. Prodr. IX, 123-127, 131-134 (1845).

\*\* BENTHAM & HOOKER, Gen. Pl. II, 817 (1876).

\*\*\* C. B. CLARKE in HOOKER, Fl. Brit. Ind. IV, 121-127, (1885).

\*\*\*\* E. GILG in ENGLER & PRANTL, Pfl.-fam. IV, 2, 88 (1875).

- ス。子房ハ線狀長橢圓形。蜜槽ハ 2、囊狀物アリ、ソノ縁ハ不規則ニ數片ニ裂ケル、花ハ單生、花梗ハ直立ス。……………I. ひめせんぶり亞屬
- 2 花瓣ノ脈ハ赤色ヲ帶ビズ。花柱ハ極ク短ク、柱頭ハ短ク 2 岐ス。子房ハ卵形、蜜槽ハ 2、内方ニ一箇ノ柱狀突起アリ。花ハ葉腋ニ單生シ、花梗ハ反曲シ下ニ向ク。……………II. つりはこべ亞屬
- 3 花瓣ハ赤色ヲ帶ビズ、花柱ハ根ク短キカ殆ド無ク、柱頭ハ短ク 2 岐ス。子房ハ長橢圓狀卵形。蜜槽ハ 1-2、裸出、或ハ少數ノ柱狀突起アリ、或ハ被膜アリテソノ邊緣絲狀ニ裂ケル。花ハ單生又ハ簇生、花梗ハ直立ス。……………III. せぶんり亞屬
- 以下各種ノ檢索表ト主ナ文獻ヲアゲル。引用標本ニハ番號ノアルモノハ番號ヲ、ナイモノハ年月ヲ附シ、東大植物學教室ノ標本ニハ-Tヲ京大植物學教室ノ標本ニハ-Kヲ東京科學博物館ノ標本ニハ-Mヲ附シタ。

### I. ひめせんぶり亞屬 (新稱)

Subgen. *Lamatogonium* (A. BRAUN) SATAKE, nov.

*Lomatogonium* A. BRAUN in Flora, XIII, 221 (1830); FERNALD in Rhodora, XXI, 194 (1919); HARA in Journ. Jap. Bot. XIII, 27 (1937).

*Pleurogyne* ESCHSCHOLTZ apud CHAMISSO & SCHLECHTENDAL in Linnaea, I, 187 (1826).

*Pleurogyne* ex GRISEBACH, Gen. et Sp. Gent. 71 et 309 (1839) et in DC. Prodr. IX, 121 (1845).

### 種ノ區別

- 1 高サ 2-15 cm. 葉ハ篋狀長橢圓形、倒卵形又ハ長橢圓形、鈍頭。萼片ハ長橢圓形、卵形又ハ橢圓形……………I. ひめせんぶり
- 2 高サ 15-45 cm. 葉ハ線形又ハ長橢圓形。萼片ハ線形……………2. まんしうひめせんぶり

#### 1. ひめせんぶり

*Swertia carinthiaca* WULFEN in JACQUIN, Misc. Austr. II, 53, t. 6 (1781).

*Pleurogyne carinthiaca* G. DON, Gent. Syst. IV, 188 (1838).

*Pleurogyne carinthiaca* GRISEBACH, l. c. 310 (1839) et l. c. 122 (1845); CLARKE in HOOKER, Fl. Brit. Ind. IV, 120 (1885); TAKADA in Bot. & Zool. IV, 177, f. 82 (1936).

*Lomatoponium carinthiacum* REICHENBACH, Fl. Germ. Excur. II, 421 (1831); HARA l. c. 27 (1937).

[産地] 本州高山帯 (八ヶ岳、赤石山麓)。

[分布] カムチャツカ、シベリヤ、アルタイ、ヒマラヤ、カウカサス、歐洲、北米。

#### 2. まんしうひめせんぶり (新稱)

*Swertia rotata* LINNAEUS, Sp. Pl. 226 (1753); PALLAS, Fl. Ross. I, 2, 98, f. 89, f. 1-2 (1788).

*Lomatogonium rotatum* VRIES f. *typicum* FERNALD in Rhodora, XXI, 197 (1919).

[産地] 満洲。興安東省、博克圖 (北川政夫, n. 12346—M)。

内蒙古。長汗惱包 (東初雄, n. 12345—M)。

[分布] 東部シベリヤ、アルタイ、北米、カムチャツカ (f. *tenuifolia*)。

さはせんぶり *Swertia diluta* BENTHAM & HOOKER (*Ophelia diluta* LEDEBOUR),  
*Ophelia chinensis* var. *daurica* BUNGE ト從來云ハレタモノハコレデアルト考ヘル。

## II. つりはこべ亞屬 (新稱)

Subgen. *Anagallidium* (GRISEBACH) SATAKE, nov.

*Anagallidium* GRISEBACH, Obs. Gent. 32 et Gen. et Sp. Gent. 311 (1839) et in DC. Prodr. IX, 122 (1845).

### 3. つりはこべ (北川 1939)

*Swertia dichotoma* LINNAEUS, Sp. Pl. 227 (1753); PALLAS, Fl. Ross. I, 2, 100, t. 91 (1788); BENTHAM & HOOKER, Gen. Pl. II, 817 (1876); GILG in ENGLER & PRANTL, Pfl.-fam. IV, 2, 88. (1895).

*Anagallidium dichotomum* GRISEBACH, l. c. 312 (1839) et l. c. 123 (1845); KITAGAWA, Lineam. Fl. Mansh. 357 (1939).

[産地] 満洲。興安北省、トロール (佐竹義輔, n. 12331, 12655—M)。

内蒙古。包頭 (東初雄, n. 12330—M)。

[分布] シベリヤ、アルタイ。

## III. せんぶり亞屬 (新稱)

Subgen. *Ophelia* C. B. CLARKE in HOOKER, Fl. Brit. Ind. IV, 121 (1885).

*Ophelia* D. DON in TRANS. Linn. Soc. XVII, 524 (1837); GRISEBACH, Gen. et Sp. Gent. 72 (1839) et in DC. Prodr. IX, 123 (1845); LOEBBOUR, Fl. Ross. III, 73 (1846-49); MIQUEL, Fl. Ind. Bat. 561 (1856).

Sect. *Ophelia* BENTHAM & HOOKER ex GILG in ENGLER & PRANTL, Pfl.-fam. IV, 2, 88 (1895); SMITH in HANDEL-MAZZETTI, Symbol. Sin. VII, 986 (1936).

## 節ノ區分

### 1 蜜槽ハ單一

1a 蜜槽ハ裸出。花時 = 大形ノ根葉アリ。莖葉ハ苞狀ヲナス……i へつかりんどう節

1a 蜜槽ノ縁 = 柱狀突起アリ (稀 = 缺如)、突起ノ表面 = 微小ノ粒狀隆起アリ……

…………… ii ちしませんぶり節

- 1a 蜜槽=囊狀物アリ、ソノ縁邊ハ絲狀=細裂……………iii ありきんせんぶり節  
 2 蜜槽ハ 2 個  
 2a 蜜槽ハ裸出……………iv あげぼのさう節  
 2a 蜜槽ノ縁邊=膜狀小片アリ深ク絲狀=細裂  
 2b 花序ハ葉腋=短縮シテ輪ヲ呈ス、種子ハ大形……………v しのめさう節  
 2b 花序ハ短縮セズ。種子ハ小形  
 2c 花時=モ大形ノ根葉アリ、花冠ハ濃紫色、斑點アリ、多年生……………  
 ………………vi みやまあげぼのさう節  
 2c 花時=根葉ナシ。花冠ハ淡紫色、斑點ナシ。1-2 年生……………vii せんぶり節

i. へつかりんどう節 (新稱)

Sect. *Rosulatae* SATAKE, nov.

- 1 萼片ノ側脈ハ中肋=合ス  
 1a 萼片ノ脈ハ上部離生、花瓣脈ハ A 型……………4. へつかりんどう  
 1a 萼片ノ脈ハ上部網狀  
 1b 花瓣脈ハ B 型、花冠裂片ハ披針形……………5. おきなはせんぶり  
 1b 花瓣脈ハ C 型、花冠裂片ハ卵形、大形……………6. しまあげぼのさう  
 2 萼片ノ側脈ハ中肋=合セズ  
 2a 花冠ハ中形、裂片ハ長サ 8 mm 幅 5 mm……………7. りうさうあげぼのさう  
 2a 花冠ハ大形、裂片ハ長サ 16-20 mm 幅 10 mm……………7-a. しんてんあげぼのさう  
 4. へつかりんどう (田代 1886 MAXIMOWICZ = ヨル)

*Swertia Tashiroi* MAKINO emend. MAEKAWA in Journ. Jap. Bot. XII, 159 (1936).

*Ophelia Tashiroi* MAXIMOWICZ in Mém. Biol. XII, 495 (1886).

*Swertia Tashiroi* var. *cruciata* MAEKAWA, l. c. 160 (1936).

[産地] 九州。大隅、佐多村 (九里聰雄, Dec. 1942—M)—屋久島 (正宗嚴敬, Jul. 1924—T)—奄美大島 (田中節三郎, n. 466—T)。

[分布] 固有。

屋久島デ寺崎留吉氏ガ採集シ、東京デ栽培開花シタモノハ花ガ 4 數性ノ點テ前川博士ニヨツテじゆじあげぼのさうト命名サレタガ、東京科學博物館ノ九里氏ガ佐多村デ採集シタ多數ノ標本ヲ檢スルト、同ジ株ニ咲イタ花ノ中デモ 5 數性ノモノト 4 數性ノモノガ混ツテキルノデ、特ニ變種トシテ分ケル必要ハナイト思フ。

5. おきなはせんぶり (佐竹 1940)

*Swertia Kanasiroi* SATAKE in Journ. Jap. Bot. XVI, 424, f. 3 (1940).

[産地] 琉球。沖縄—與那覇岳 (金城鐵郎, n. 59374—M)。

[分布] 固有。

## 6. しまあけぼのさう (牧野 1904)

*Swertia Makincana* MAEKAWA, l. c. 159 (1936).*Swertia Tashiroi* MAKINO in Bot. Mag. Tokyo, XVII, 54 (1903) et XVIII, 142 (1904) excl. syn. non MAKINO (1896).

[産地] 琉球。八重山 (田代安定, Oct. 1886—T)—石垣島 (高嶺實言, n. 74—K).

[分布] 固有。

前川博士ニヨレバ花ハ強ク點頭シ、正開シナイノガ特徴デアルト云フ。

## 7. りうきうあけぼのさう (牧野 1903)

*Swertia Kuroiwai* MAKINO, l. c. 53 (1903) et 143 (1904); MAEKAWA, l. c. 160 (1936).*Swertia Tashiroi* MAKINO in Bot. Mag. Tokyo, X, 57 (1896) proparte.

[産地] 琉球。沖縄、久米島 (宮城鐵朗, Dec. 1907—T)。

九州。大隅、奄美大島 (矢島省三—T)。

[分布] 特産。

前川博士ハ、花序ノ疎散スルモノヲりうきうあけぼのさう var. *laxa* MAEKAWA、密ニ短縮シタモノヲむれざきりうきうあけぼのさう var. *condensata* MAEKAWA ト區別サレタガ、ソノ必要ハナイト思フ。強ヒテ分ケレバ forma *laxa* (MAEKAWA), forma *condensata* (MAEKAWA) ト輕ク扱ツテライテイ、位デアル。

## 7-a. しんてんあけぼのさう (早田 1917)

*Swertia Kuroiwai* MAKINO.var. *shintenensis* (HAYATA) SATAKE, comb. nov.*Swertia shintenensis* HAYATA, Icon. Pl. Formos. VI, 31 (1916) et Gen. Ind. Fl. Formos. 49 (1917); MASAMUNE, Short Fl. Formos. 172 (1936); MAEKAWA, l. c. 161 (1936).

[産地] 臺灣。臺北州、新店 (U. FAURIE, n. 1256—T; n. 820—K)—石碇 (長澤, n. 700—K)。

[分布] 固有。

花冠ガ極メテ大キク、一見他カラ區別出キルガ、ヨク檢スルト種トシテ區別スル程充分ナ特徴ハナイ。

以上へつかりんどうノ一群ハヨク似タモノデアルガ、萼ト花冠ノ脈ノ特徴ヲ捕ヘテ以上ノヤウニ區別スルコトガ出來ル。基本トナルへつかりんどうノヨイ標本ガナイノデ困ツテキタガ、一昨秋、九里聰雄氏ガ原産地ノ近クデ採集シタ完全標本ヲ多數檢スルコトガ出キタノデ以上ノ結果ニナツタノデアル。京都ノ北村博士ハ京大植物學教室ノ標本ノ研究ト、生育地ニ於ケル觀察カラ、九州カラ臺灣マデ同一種デアルト考ヘテキルト筆者ニ話サレタガ、筆者ハ今ノ所以上ノヤウニ考ヘル。今後ノ研究ヲ要スル所デアルト思フ。



## ii. ちしませんぶり節 (新稱)

Sect. *Stellera* (TURCZAN.) SATAKE, nov.

*Stellera* TURCZANINOW in Bull. Soc. Nat. Mosk. XIII, 167 (1840); GRISEBACH in DC. Prodr. IX, 123 (1845).

## 種ノ區分

- 1 花ハ大形、花瓣ハ長サ 10 mm 内外、5-7 脈、上部ハ網脈ヲナス。蜜槽ハ線形デ長サ 3 mm 内外、相離レ、内方ニ多數ノ柱狀突起アリ。萼片ハ 3 脈、上部ハ網脈ヲナス ..... 8. おほばせんぶり
- 2 花ハ小形、花瓣ハ長サ 5 mm 以下、3-5 脈、上部多少網脈ヲナス。蜜槽ハ 1 個、長橢圓形又ハ橢圓形又ハ腎臟形、少數柱狀突起ヲ花スルカ或ハ缺如。萼片ノ脈ハ離生又ハ多少網狀ヲナス
  - 2a 花瓣ハ卵形、紫藍色、5 脈、明カニ網脈ヲナス。蜜槽ハ長橢圓形、多數ノ柱狀突起アリ、萼片ノ脈ハ離生 ..... 9. ちしませんぶり
  - 2a 花瓣ハ橢圓形又ハ卵形、淡碧色又ハ淡黄色、3 脈、殆ンド網脈ヲナサズ。蜜槽ハ橢圓形又ハ腎臟形、少數ノ柱狀突起アルカ或ハ全ク裸出。萼片ノ脈ハ離生或ハ多少網狀ヲナス
    - 2b 花瓣ハ淡碧色。蜜槽ハ橢圓形デ柱狀突起ハ稍々長イ。萼ノ脈ハ離生 ..... 10. たかねせんぶり
    - 2b 花瓣ハ淡黄色。蜜槽ハ橢圓形デ少數ノ柱狀突起アリ。萼ノ脈多少網狀 ..... 11. やけいしせんぶり
    - 2b 花瓣ハ淡碧色、蜜槽ハ腎臟形、柱狀突起殆ト或ハ全クナシ。萼片ノ脈ハ多小網狀 ..... 11-a. えぞたかねせんぶり

8. おほばせんぶり (森 1922)

*Swertia Wilfordi* KERNER in Berol. Gesell. Nat. Innsbr. I, 102 (1870); KOMAROV, Fl. Mansh. III, 274 (1905); NAKAI, Fl. Koreana, II, 100 (1911) et in Bot. Mag. Tokyo, XLVII, 262 (1933); KITAGAWA, Lineam. Fl. Mansh. 361 (1939).

*Swertia anomala* NAKAI in Bot. Mag. Tokyo, XXVIII, 331 (1914); MORI, Enum. Pl. Corea, 292 (1922).

[産地] 朝鮮。咸北、茂山 (森爲三、n. 320—T)。

[分布] 満洲、ウスリー。

9. ちしませんぶり、こあけぼのさう (松村 1895)、えぞせんぶり (宮部)

*Swertia tetrapetala* PALLAS, Fl. Ross. I, 2, 99, t. 90, f. 2 (1788); MIYABE, Fl. Kuril. 251 (1890); KOMAROV l. c. 273 (1905) et Fl. Pen. Kamtch. III, 38 (1930); KUDÔ, Fl. Paramush. 150 (1922); TATEWAKI in Trans. Sapporo Nat.

Hist. Soc. IX, 181 (1927) et Veg. Apoi, 107 (1928); NAKAI, Rep. Veg. Apoi, 66 (1930); HULTEN, Fl. Kamtch. IV, 68 (1930); HARA in Bot. Mag. Tokyo, LI, 18 (1937).

*Anagallidium tetrapetalum* GRISEBACH, Gen. et Sp. Gent. 312 (1839).

*Stellera cyanea* TURZANINOW, l. c. 168 (1840); GRISEBACH, l. c. 123 (1845); LEDEBOUR, Fl. Ross. III, 73 (1846-49).

*Rellesta cyanea* TURZANINOW, Fl. Baical. II, 270; MAXIMOWICZ, Prim. Fl. Amurl. 198 (1859).

*Ophelia papillosa* FRANCHET & SAVATIER, Enum. Pl. Jap. II, 450 (1879).

*Ophelia yezoensis* FRANCHET & SAVATIER, l. c. 451 (1879).

*Swertia yezoensis* MATSUMURA, Shokubutsu-Meii, Rev. ed. 287 (1895).

*Swertia tetrapetala* forma *popillosa* HARA, l. c. 19 (1937).

[産地] 千島。色丹島 (荒井, n. 29719—M) (大井次三郎, n. 810, n. 59, n. 1210, n. 148—K)。幅筵島 (小泉秀雄, n. 24092, n. 38935—M) (吉井良三、大橋達夫, Aug. 1932—K) (大井次三郎、吉井良三, n. 222, n. 5791, n. 5345—K)。占守島 (遠藤吉三郎, n. 24091—M) (大井次三郎、吉井良三, n. 75—K)。阿頼度島 (大橋達夫, Aug. 1932—K)。國後島 (松村義敏, Jul. 1930—K)。擇捉島 (群場正之, Aug. 1933—K)。

北海道。膽振、勇拂 (n. 10165—M)。天鹽、摺鉢山 (山本岩龍, n. 9—K)。日高、模似 (n. 18434—M) (徳淵, Aug. 1892—T)—アボイ山 (中井猛之進, Aug. 1928—T) 原寛, Aug. 1933—T) (奥山春季, n. 68944—M)。釧路、美幅峠 (野口六也, n. 41669—M)—摩周岳 (坂口總一郎, Jul. 1935—T)。

朝鮮。咸北、冠帽峯 (中井猛之進, n. 7404—T) (齋藤龍本, n. 719—K)—渡正山 (小泉源一, Aug. 1933—K)—雪嶺 (中井猛之進, n. 7405—T)—頭流山 (朴澤茂雄, n. 68685—M) (大井次三郎, n. 2751—K)。咸南、胞胎山 (古海正福, n. 216—T)—北水白山 (中井猛之進, n. 15647—T) (朴澤茂雄, n. 68682—M)—高頭山 (朴澤茂雄, n. 68684—M)—雲水嶺 (奥山春季, n. 67297, n. 67296—M)—遮日峯 (中井猛之進, n. 15649—T) (大井次三郎, Jun. 1932—K) (小泉源一, Jul. 1933—K)。平井、妙高山 (小泉源一, Aug. 1935—K)。江原、金剛山 (中井猛之進, n. 5765, n. 5768—T) (北村四郎, Sept. 1939—K)。慶北、伽耶面 (小泉源一, Jul. 1935—K)。慶南、智異山 (小泉源一, Sept. 1933—K) (森爲三, n. 232—T) (朴澤茂雄, n. 68683—M) (張享斗, n. 67298—M)。濟洲島 (森爲三, n. 94—T) (U. FAURIE, n. 289, n. 1924—K) (張享斗, n. 1519—K) (中島一男, n. 76—K) (E. TAQUET, n. 3063—T) (石戸谷勉, n. 19—T) (朴澤茂雄, n. 68681—M)。

[分布] シベリヤ、カムチャツカ。

北海道、朝鮮産ノモノハ花瓣ノ下部ニ微小ナ乳頭狀突起ガアルノデエゾせんぶり (f. *popillosa* HARA) ト呼バレ、又朝鮮産ノモノハ花冠ガ小サク葉モ狭クムシロタカかねセ

んぶりニ似テキルヤウデアル。種又ハ變種トシテ分ケル程明瞭ナ特徴ハ見出スコトハ不可能デアル。生育スル場所ニヨツテ相當變北アルヤウデアルカラ、尙澤山ノ材料ニヨリ研究スル必要ガアルガ、一應ちしませんぶりトシテオク。千島産ノモノニ白花品ガアリ館脇博士ニヨツテしろばなちしませんぶり forma albiflora TATEWAKI, Phytogeogr. Midd. Kuril. 234 (1933) et Rep. Veg. Shikotan, 48 (1940) ト命名サレテキル。

## 投 稿 規 定

1. 和文原稿ハ片假名交リ、植物和名ハ平假名ヲ用ヒ成ル可ク 400 字詰原稿用紙ニ書クコト。
2. 歐文原稿ハタイプライトスルコト。
3. 印刷凡例ヲ示スニハ和文及歐文「ゴシック」~~~~~、「イタリック」———、「アンチック」----、「キャピタル」=====、ノ如ク原稿ニ符號ヲ入レルコト。
4. 數字ハアラビア數字ヲ用ヒ、數量單位ハ「メートル」法ニ從ヒ m cm kg 等ノ略字ヲ用フルコト。
5. 抜刷入用ノ方ハ投稿ノ際ニ申込ムコト。但シ實費ハ著者ノ負擔トシ、部數ハ 50 部ニ限ル。
6. 送稿及編輯ニ關スル通信ハ東京都本郷區本富士町東京帝國大學醫學部藥學科生藥學教室 植物分類・生藥資源研究會宛提出ノコト。
7. 庶務會計會費拂込ハ東京都目黒區上目黒八丁目五〇〇津村研究所 (振替東京 1680 番) 宛申込ムコト。

昭和 19 年 7 月 23 日 印刷  
昭和 19 年 7 月 25 日 發行

編輯兼發行者

佐々木 一郎  
東京都大森區調布邊ノ木町  
二百三十一番地

印刷者

安達 信雄  
(東京)

印刷所

東京都牛込區市谷加賀町一丁目二番地  
大日本印刷株式會社

發行所

東京都本郷區本富士町  
東京帝國大學醫學部藥學科生藥學教室  
植物分類・生藥資源研究會  
日本出版會會員番號 225626

非 賣 品  
—  
不 許 複 製